

1. 件名：使用目的のない核燃料物質の集約に係る面談

2. 日時：令和5年10月26日（木）13:10～14:10

3. 場所：原子力規制庁8階会議室(テレビ会議)

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 原子力規制企画課 黒川課長、布田企画官、安達係長

国立研究開発法人原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 塩月本部長代理、他3名

5. 要旨：

○原子力規制庁が、資料に沿って、核燃料物質の集約管理に関して内閣府及び文部科学省と実施した面談の状況について説明した。国立研究開発法人原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）より、関係行政機関の検討や方針を踏まえて本事案に引き続き協力・貢献していく方針に変わりはないという旨の発言があった。

○原子力機構が、資料に沿って、核燃料物質の保管費用の実績について説明した。原子力規制庁より、これらの費用実績を踏まえて、詳細案について検討を進めたいと発言するとともに、今後、核燃料物質の保管にかかる具体的な案を提示して費用の算出を依頼することになる旨、伝えた。

○原子力規制庁から、引き続き関係機関とも認識を合わせるべくコミュニケーションを図る旨を伝えた。

6. 資料

- ・利用実態がない核燃料物質等の集約に係る面談（令和5年10月11日に実施した面談の面談録）（<https://www2.nra.go.jp/data/000456574.pdf>）
- ・押収品ウランの保管について（*）

*の資料は原子力機構から提示されたものであるが、WEB 会議の画面上においてのみ共有されたため、規制庁側の手元には残っていない。

以 上